



# 感染制御部

## 研修目標

感染制御部は、感染症疾患の内科的診療と院内感染対策の2つを柱としている。当部局での研修は、感染症専門医としての幅広い臨床能力を育成するとともに、感染制御医師として院内感染対策に精通し、対策、予防策を立案、実践できることを目標としている。本院では、特に移植医療などの最先端医療に合併する高度な専門知識が求められる感染症マネジメントを習得でき、感染症医としてのキャリアアップに非常に有用な研修が可能となっていることが大きな特徴である。また、中核拠点病院として、HIV診療を学ぶことも可能である。

## 初期臨床研修

当部局では、全診療科の感染症症例についての介入を行っており、症例を通じて以下のような項目を習得できる。

1. 感染症診療のロジックを身につける
2. 血液培養症例に介入を行い、患者の診療内容を適切に把握できる
3. 抗菌薬のスペクトラム、薬物動態、作用機序、副作用などの基本を理解し、臨床に応用できる。
4. 薬剤部 TDM 室との連携により、薬物血中濃度モニタリングが必要な薬剤の適切使用について理解し、モニタリング結果を活用して適切な投与法を立案できる
5. 検査部細菌検査室との連携により、グラム染色を用いた診断の習得、及びその他の感染症検査の流れと意義を理解し、臨床に応用できる。
6. 最新のエビデンスの収集を行い、臨床応用ができる
7. ICT (Infection Control Team) 活動に参加し、感染経路別予防策を理解し、実践できる
8. 医師や他の医療従事者と良きコミュニケーションを保つことができる
9. ケースプレゼンテーションが論理的かつ明快にできる

また、初期臨床研修2年目に当部局のローテーション(2~3ヶ月)が可能であり、上級医の指導のもと、より高度な専門知識と技能を身につけることができる。

## 後期研修

専門研修では、将来的に各医療施設の感染症診療および感染管理のリーダーとなるための知識と経験を積むことを目標とする。上級医の指導のもと、自らが中心となって感染症診療を行うようになる。

後期研修では、初期臨床研修における研修目標に加えて、以下の内容を目標とする。

10. 各診療科、各部局からのコンサルテーションを随時受け、適切な指導ができる
11. ICT 活動に参加し、院内感染対策を立案し、指導を実践できる
12. 病原微生物の基礎的な解析を行い、臨床応用できる(耐性因子、毒素、タイピングなど)
13. 抄読会における発表を通じ、感染症に関する最新の知識をまとめ、明快なプレゼンテーションができる
14. 臨床研究の実践と報告(学会発表、論文執筆および投稿)ができる
15. HIV 感染症のマネジメントができる